

者計画」を作るべきではないか。
【未来】令和6年度策定予定の「足立区こども計画」の中で若

区民のいのちを守りぬく、本気の災害対策を!!

日本共産党 小林 ともよ 議員



【問】避難所で発生する性犯罪の防止策として、寝る場所は「男性」「女性」「家族」のようにスペースに仕切りを設けることが必要だと思いませんか。

【危機管理】水害時は、先に避難した人を順番に上階層から案内することや、多数の避難者が来るのが想定されるため、現場でルーラ化して振り分けることは困難であると考えます。

また、震災時は物資の受け渡しの都合上、体育館スペースに可能な限り町会・自治会単位で振り分けることとなっているが、仕切り方については今後検討を行っていく。

一人ひとりにあった避難計画を

【問】医療的ケア児を含む要支援者の個別避難について、別府市と同様に当事者と地域の支援者が、個々のケースに応じて避難方針を話し合える関係者会議を設けていくべきではないか。

また、水害・震災時の個別避難計画は、地域コミュニティで避難できるような計画にしておく必要があると思うがどうか。

【福祉】避難支援を話し合うためには、事前に要支援者の知的能力や介護等の身体状況・家族構成等の個人情報提供が必要である。平常時の避難支援の実

者を社会形成の主体として位置付け、庁内の垣根を越えた連携を図り、施策を体系化していく。

日本維新の会足立区議団

ガバナンスを強化し、区政への信頼を高めよ

日本維新の会 富田けんたろう 議員



【問】区のあらゆる組織において、個人情報漏洩等の重大事案が頻発している。ダブルチェック等、個人情報保護におけるルー

ルの徹底がされていないのではないかと危惧しているが、区長の見解を伺う。

【区長】ルーラの徹底がされていないという認識である。指導力不足であり、この状況をどのように打開すべきか検討しなくてはならず、非常に大きな問題であると考えている。

緊張感を高め事故・ミスの防止を

【問】事故・ミス事案に関して責任の所在が不明確であり、処分が適切に行われていないのではないかと考える。再発防止策が形骸化している可能性も推察され、結果として職員間での緊張感の希薄化に繋がっているのではないかと考えるが、区長の

の同意を得た場合は、町会・自治会へつなげ、地域コミュニティで避難できるような計画を作成していく。



足立区議会立憲民主党

区民の命と暮らしを守りぬく足立区へ!

立憲民主党 おぐら 修平 議員



【区長】事故・ミス事案に関する処分については、第三者の見解を伺う。

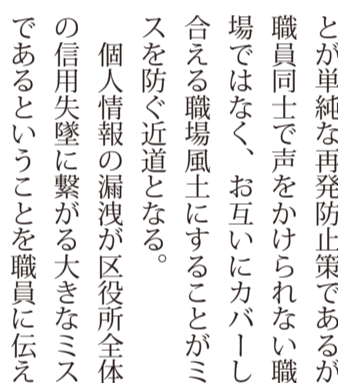
【問】現在の区財政は堅調であるものの、物価・人件費高騰による影響や大規模災害への備え、公共施設の更新等もあり、堅実な財政運営が求められている。その中で災害や事故等から区民の命を守り、区民生活や区内事業者を支える分野においては、今後継続して重点的に予算配

置すべきと考える。困窮している区民の支援につなげるために、どの分野にどのような対策を通じて予算配置をすべきか精査しながら策定していく。

官民一体で困りごとを受け止める

【問】区は、福祉的なあらゆる相談・困りごとを受け止める「福祉まるごと相談課」を令和6年度より設置する。重層的支援体制の整備に向け、組織・分野横断的な連携強化のための職員研

護士が関係者にヒアリング等を行い、責任の所在を明確にした上で必要な処分を行っている。複数の職員でチェックを行うことが単純な再発防止策であるが、職員同士で声をかけられない職場ではなく、お互いにカバーし合える職場風土にすることがミスを防ぐ近道となる。



足立区議会改革推進 土屋 のりこ 議員

高い介護保険は値下げを! 千住地域の水害対策を前へ

議会改革推進 土屋 のりこ 議員



【問】昨年末に区内で出産した人たちから「現在実施されている区の相談事業は敷居が高く相談がしづらい」「おむつ宅配のように定期的に支援員が訪問し、区民同士が助け合える制度があれば良い」等、子育て相談の敷居の高さについて指摘があった。区は、このような声をどう受け止め、改善していくのか。

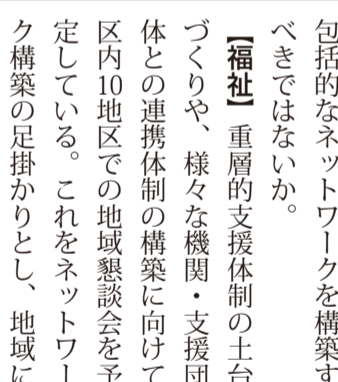
【未来】より効果的で気軽に相談できる支援策を検討していく。

【問】子ども支援センターげんきの教育相談は、いじめや不登校等、保護者の様々な悩みを相談できる場であるが、面談可能日が1〜2カ月先となっている。早期に対応すれば改善の可能性が高い相談ケースも一律で待たされている状態であるため、相談員を増員する等、改善を図るべきと考えるがどうか。

【げんき】中学3年生の不登校や進路の相談等、緊急性のある

【問】第9期介護保険事業計画

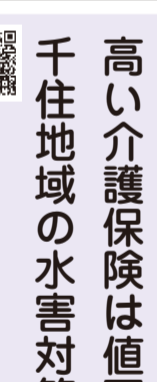
修を実施する予定であるが、関係機関等にて体験研修やヒアリングを行い、担当者同士が顔の見える関係を構築して、官民の包括的なネットワークを構築すべきではないか。



都民ファーストの会足立区議団

子どもから高齢者まで安心して暮らせるあだち

都民ファースト 佐藤 あい 議員



【問】子ども支援センターげんきの教育相談は、いじめや不登校等、保護者の様々な悩みを相談できる場であるが、面談可能日が1〜2カ月先となっている。早期に対応すれば改善の可能性が高い相談ケースも一律で待たされている状態であるため、相談員を増員する等、改善を図るべきと考えるがどうか。

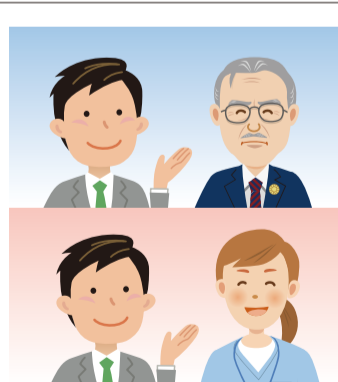
【問】区は、認知症の人が行方

【問】第9期介護保険事業計画

【問】第9期介護保険事業計画

【問】第9期介護保険事業計画

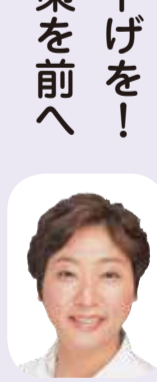
おける課題や困りごとを直接聴くことで包括的相談支援のニーズを把握すると同時にネットワークの構築や充実にも努めていく。



足立区議会改革を全力で推し進める会

高い介護保険は値下げを! 千住地域の水害対策を前へ

議会改革推進 土屋 のりこ 議員



【問】昨年末に区内で出産した人たちから「現在実施されている区の相談事業は敷居が高く相談がしづらい」「おむつ宅配のように定期的に支援員が訪問し、区民同士が助け合える制度があれば良い」等、子育て相談の敷居の高さについて指摘があった。区は、このような声をどう受け止め、改善していくのか。

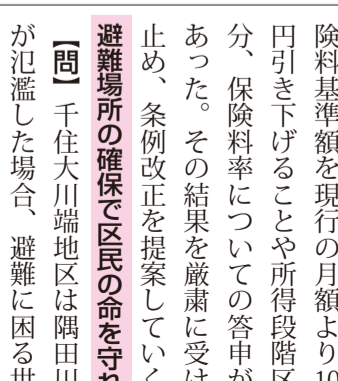
【未来】より効果的で気軽に相談できる支援策を検討していく。

【問】子ども支援センターげんきの教育相談は、いじめや不登校等、保護者の様々な悩みを相談できる場であるが、面談可能日が1〜2カ月先となっている。早期に対応すれば改善の可能性が高い相談ケースも一律で待たされている状態であるため、相談員を増員する等、改善を図るべきと考えるがどうか。

【げんき】中学3年生の不登校や進路の相談等、緊急性のある

【問】第9期介護保険事業計画

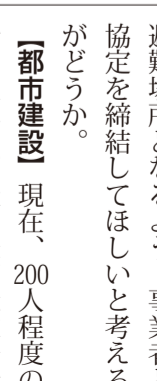
上げではなく引き下げるべきかどうか。



都民ファーストの会足立区議団

子どもから高齢者まで安心して暮らせるあだち

都民ファースト 佐藤 あい 議員



【問】子ども支援センターげんきの教育相談は、いじめや不登校等、保護者の様々な悩みを相談できる場であるが、面談可能日が1〜2カ月先となっている。早期に対応すれば改善の可能性が高い相談ケースも一律で待たされている状態であるため、相談員を増員する等、改善を図るべきと考えるがどうか。

【問】区は、認知症の人が行方

【問】第9期介護保険事業計画

【問】第9期介護保険事業計画

【問】第9期介護保険事業計画